

目次

ご挨拶	01
開港から名古屋港管理組合設立まで	04
名古屋港管理組合設立以降の歴史（年表1951年～2021年）	05
名古屋港の将来計画（長期構想・中期経営計画/港湾計画）	07
国際産業戦略港湾の実現に向けた取組	09
安心・安全な港づくり	10
環境・交流	12
資料	
・ 歴代役職者	13
・ 港勢の推移（統計）	15
・ 名古屋港の実力	17
・ 名古屋港埋立変遷図	18

名古屋港管理組合は、名古屋港の港湾管理者として1951年（昭和26年）9月8日に設立された特別地方公共団体で、今年で設立70周年を迎えました。

名古屋港は愛知県と名古屋市が整備してきたものを一体的に管理すべきとの議論を経て、両者を母体とする「一部事務組合」として設置されました。

名古屋市、東海市、知多市、弥富市、飛島村の4市1村にわたる行政範囲について、一元的管理を行えることが名古屋港発展の基礎となっています。

名古屋港管理組合の組織は管理者（執行機関）と議会（議決機関）で構成されており、管理者には愛知県知事と名古屋市長が2年交代で就任し、現在約620名の職員が港湾の多岐にわたる業務に従事しています。

議会は、愛知県議会及び名古屋市会から選出された30名の議員で構成され、県民・市民の意見を港湾行政に反映させる役割を果たすとともに、名古屋港のあるべき方向性についてかじ取りを行っています。



2号地（現ガーデンふ頭）にあった設立当時の庁舎



旧庁舎は1957年（昭和32年）に西館が、1969年（昭和44年）に東館がそれぞれ完成



現在の本庁舎
2010年（平成22年）9月から運用開始